

# いつまでも、住み慣れた地

## 青葉地区

昭和37年の団地造成から、50年近くが経過し、現在、市内で最も高齢化率の高い地区となっています。

青葉まちづくり会議では、「高齢者対策部会」「防犯防災部会」「環境部会」「地域で子どもを育てる部会」の4部会を設け、高齢者を見守る取り組みや子育て支援世代間交流事業などを行い、地域全体でこれらの課題に取り組んでいます。

## 福祉寸劇団あつべつ



写真：福祉寸劇団あつべつ

高齢者を取りまく諸問題について、楽しく、分かりやすく伝えようと、平成19年に「福祉寸劇団あおば」を結成。認知症をテーマにした寸劇を披露したところ、それが楽しく、分かりやすいと評判を呼びました。現在、青葉地区だけにとどまらず厚別区内で活動を行い、名称も「福祉寸劇団あつべつ」に改名。『悪徳商法から守る』や『振り込め詐欺』などレパトリーも広がっています。



青葉地区では、みんなで知恵を出し合い、協力し、課題解決に向けて行動しています。

青葉地区青少年育成委員会 会長

ささき はじめ  
佐々木 甫 さん

## 少子高齢化が進んでいる

『青葉』と『もみじ台』は人口が減少する一方で、お年寄りが増え、高齢化率（65歳以上が人口に占める割合）は、札幌市内で1番目と3番目に高い地区となっています。両地区では、高齢者が安心して暮らし、地域の将来を担う若い世代を育てるため、見守り活動や世代間交流事業などさまざまな取り組みを行っています。

## 地域で子どもを育てる部会

同部会では、青葉小学校の児童約200人を対象に、大人に応援してほしいことのアンケートを実施。その結果、「勉強」や「遊び」などの回答もあったため、退職校長会厚別支部が中心となり、夏休み期間中、児童会館で勉強や遊びの支援を行っています。子どもからは「楽しかった」、保護者からは「免許状を持つ先生方の指導なので安心」という声が多く、大好評です。



▲勉強や遊びの支援

## “流しそうめん”で世代間交流

夏になると、児童と地域サロンの高齢者が「流しそうめん」を楽しみながら交流を行っています。そうめんのほかにも、ミニトマトやサクランボなども流れ、子どもたちは、大きな歓声をあげています。また、高齢者も「子どもたちと一緒に楽しく食べられる」と、毎年、この日が来るのを楽しみにしています。



▲流しそうめん

【問い合わせ先】※公演依頼、入団希望者はご連絡ください。

福祉寸劇団あつべつ・・・☎011-893-2055  
(青葉地区社会福祉協議会)